

見守り隊・学校支援ボランティアさんへ

感謝の会を行いました！



加美小学校では、毎日の登下校の見守りや年間80回をこえてボランティアの方にお世話になっています。読み聞かせ、図書室壁面飾りや参観日の託児、また各教科の学習支援や専門的な指導、春の遠足など行事の補助、伝統となっている日本の伝統文化学習などさまざまな体験活動の指導や支援をいただいています。地域のさまざまな技をもった方たちや老人会、婦人会、また津山や県南から指導に来てくださる方もおられます。多くの方のご協力や支援を受けて、加美小の子どもたちは貴重な体験をさせていただいています。そこで、児童会主催の感謝の会を開催しました。48名の見守り隊の中18名、55名のボランティアさんの中19名、あわせて35名の方が来てくださいました。ランチルームで3～6年が作文発表をし、1、2年がお礼のメダルをお渡ししました。その後、全校で気持ちを込めて「ありがとうの花」を合唱しました。子どもたちの心が皆さんに伝わったでしょうか。

たくさんの方に見守っていただけるおかげで、子どもたちは毎日、安心して登校できていますし、体験を通して多様な学びもできています。子どもたちは学習意欲や関心を高めたり、知識を広げたり、目を輝かせながら体験活動に取り組んでいます。また、教師にとっても良い研修の場となっています。

子どもたちは、人の話を聞くことができるようになり、また礼儀正しい行動ができる子も増えていきます。加美小の子どもたちは、地域の方々に支えられて育っています。多くの方との出会いは子どもたちにとって宝物です。子どもたちがさまざまな生きた体験をさせていただけることに、心から感謝いたします。お忙しい中、ご協力いただき本当にありがとうございました。教職員一同心より感謝しております。

「小学校に来て元気がもらえたよ。」「今日は感動した。」という嬉しいお言葉もいただきました。地域や保護者の皆様の力をお借りしながら心豊かな子どもたちを育てていきたいと考えております。今後とも、ご支援とご協力をよろしくお願いいたします。



一人一人にメダルをプレゼント

◆◆ 2月の多読賞 ◆◆

* 2月23日まで

- 1年 池上 悠太さん
- 2年 萩原 幸一さん
- 3年 中力 来夏さん
- 4年 古城万悠子さん
- 5年 池上 小桜さん
- 6年 桑元 優大さん

よくがんばって本を読みました。
すばらしい！

☆☆ 2月の行事より☆☆

中学校入学説明会

3日（金）

午後から中学校へ保護者と共に行き、中学校へ入学するためのお話をいろいろ聞きました。中学校のきまりや部活動についてのお話を聞いた後、子どもたちは校舎見学をしました。きれいな校舎と小学校とは違う雰囲気に興味津々。自分たちが生活することになる教室も見せていただきました。



新1年生入学説明会

7日（火）

新1年生の保護者の方に来ていただき、小学校の生活やきまり、入学までに身につけておいてほしいことなどについてお話ししました。持ち物については実物を見ていただきながら説明しました。小学校にスムーズに接続するためには、良い生活習慣を身につけることが何より大切です。24人の元気な子どもたちの入学を、上級生も私たち教職員も心待ちにしています。

小小連携(タグラグビー)

9日（木）

6年生が美咲中央小学校の6年生と交流会をしました。今までゆっくり交流する時間がなかったので、同じ中学校へ入学するメンバーとして、タグラグビーを通して親睦を深めようと、今年度計画しました。片手を握り合っただのタグの取り合いやミニゲームをして楽しみました。寒い体育館の中でしたが、楽しい声が響いていました。春には同じ中央中学校の生徒となります。仲良くがんばりましょう。



県下一斉あいさつ運動

10日（金）

岡山県教育委員会、津山教育事務所、美咲町教育委員会から来られ、7時40分からあいさつ運動を行いました。雪が降る中でのあいさつ運動となりました。2月をあいさつ強化月間にし、児童会の運営委員もあいさつ運動に取り組んでくれています。子どもたち自身ががんばっているせいか、今までより大きな声が出ています。みんなで気持ちの良いあいさつをかわしましょう。

昔の道具体験

20日（月）

3年生が昔の道具体験をしました。七輪で炭に火をおこす体験でした。インフルエンザが流行し延期していましたが、老人会の皆さんにお世話になりやっと実現しました。あいにく雨が降っていたので、通路を使って火起こし体験をしました。作ってくださった火吹き竹を使うのも初めてでした。火起こしのコツを教えてください、煙に目が痛いと言いながらも頑張りました。おきた炭で、自分たちがもんだお餅（慣れない子もいてなかなか個性的なお餅です。）を、焼いてみんなで食べました。



「ちゃんと集中できる子の脳は10歳までに決まる」

日本大学大学院総合科学研究科教授

林 成之 著

情報伝達回路の機能が発達するのは8～10歳の時期

脳神経細胞がどんどん増え続ける時期：0～3歳

脳神経細胞の間引き現象が起こる時期：4～7歳

＊間引きとは脳の整理をすること

それぞれの時期に合わせた育脳が子どもの脳の成長を促し、「集中力」の源をつくっていく。

＊気持ちのこもった楽しい対話をするのが集中力の高い子になる素質をつくる。

「早く〇〇しなさい。」は、子どものやる気を奪うNGワード

脳育に手遅れはない！

脳にはその時期ならではの育脳のやり方があるが、いくつになっても鍛えることができるため、手遅れはない。発達スピードも一人一人違う。周りの子と比べて心配したり焦ったりするあまり、いろいろ口出ししたり否定的なことばを言うと逆に脳の成長を妨げる。「やる気」と「成し遂げた喜び」が脳を成長させるエネルギーとなる。

集中力は「気持ち」の力

「好きだ」「楽しい」と思うことには一心不乱に取り組める。

「このくらいでいいか」と思うと集中が途切れる。

「こんなの無理」と思うと集中力を発揮する以前にあきらめてしまう。

★集中力が落ちることば
・「無理だ」「できない」という否定的なことば

「集中力」を付けるために脳の本能をフル回転させる

<7つの脳の本能>

①「生きたい本能」 ②「知りたい本能」 ③「仲間になりたい（誰かの役に立ちたい）本能」

「好きになる・興味をもつ」（④自己保存の本能）

「理解したい、正しい判断をしたい」（⑤統一・一貫性を好む本能）

「自分の力で成し遂げたい」（⑥自我の本能）

「みんなと一緒にやりたい、考えを深めたい」（⑦共生の本能）

友だちと切磋琢磨すると集中力が高まる！

<家庭でできる10のよい習慣>

①物事に興味をもつ・感動する

②否定的なことば（できない、無理）を使わない。

③後回しをくせにしない。（やるなら今！）

④損得を考えて手を抜かない。

⑤最後までやりきる。

⑥人の話をしっかり聞く。

⑦失敗の大切さを話す。

⑧人をバカにしない。

⑨集中できる環境を整える。

⑩繰り返し考える習慣をつける。

できることから始めてみませんか？